

室工大と製鉄病院 光治療法共同研究

室蘭工業大学（佐藤一彦学長）と、製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）の共同研究「高照度光治療法」に関する11月から、高照度光治療法を用いて、交代勤務などに伴う不眠・精神神経症状の改善や未然防止の共同研究を実施。研修会には医療関係者ら約50人が参加。

「睡眠改善に一定の効果」

睡眠改善に一定の効果

研修会で報告

同病院職員への臨床試験結果などを報告した三浦准教授は、試作した白色発光ダイオード（LED）を使った1万ルクスを目に照射する「ゴーグル型高照度光療法器」を用いて実施した6人の臨床データなどを解説。「睡眠関連症状が改善傾向にあった。光が（睡眠感）のメンタルヘルスケア対策」などを解説。参加者は真剣に聴き入っていた。

その上で、3人がう

（松岡秀宜）



臨床試験結果による高照度光治療法の効果などが示された研修会